



「土から生まれたものは、土に返そう。」



↑ 事業体HPはこちら

山興緑化有限会社

Sankou Ryokka

私たちの仕事



山林伐採して素材生産と
バイオマス燃料生産。
また、中国地方随一の木くず処理能力で
廃棄物処理からリサイクルまで
一貫体制で処理。
長年培ってきた堆肥製造技術をはじめ
総合的なノウハウと技術を結集して、
循環型社会構築を進めています。



社屋

上空から見た
小松地本社

所有林業機械の
一部です



Work Photo

profile

住 所／〒696-1135
島根県邑智郡美郷町小松地320番地
TEL:0855-77-0035 FAX:0855-77-0135
✉info@sanko-ryokka.com
創 立／昭和52年4月
従業員数／44名（男性41名、女性3名）
事業内容／パーク堆肥製造販売、産業廃棄物の
運搬・処分、一般廃棄物の運搬・
処分、木質系バイオマス燃料製造、
製紙用木材チップ製造、公共工事等
の伐採、立木伐採、素材生産など

● 福利厚生

- ・社会保険完備
- ・退職金あり
(中小企業退職金共済加入)
- ・年次有給休暇
(6カ月連続勤務で10日付与)
- ・年1回の慰安旅行あり

● 給与、勤務時間等

初任給(高卒)／月給制：月額／170,000円程度
(定期昇給 年1回(10月)、賞与 年2~3回)
諸 手 当／通勤手当、現場手当、携帯手当、
資格手当
勤務時間／8:00 ~ 16:40 (昼休み 12:00 ~ 13:00、
10:00 と 15:00 に 10分間の休憩)
休 日／日曜日、第2土曜日、祝祭日、
盆・年末年始(休日カレンダーにて)

● その他

- ・機械・装備品等は支給
- ・防護服、作業服等は支給



● 従業員の主な出身校

島根県立農林大学校
(出身高校は、出雲農林高校、松江農林高校、島根中央高校など)



先輩からのひとこと

林業のイメージは「3K」などと言って良いイメージではないと思われていますが、実際に携わってみるとそうでもないですよ。伐倒作業で狙い通りの方向に倒せたときの爽快感は格別です。



緑の担い手

草間 隼さん

林業経験 3年
松江農林高校～
島根県立農林大学校

山興緑化 有限会社

事業体情報は
こちら



所在地

〒696-1135
島根県邑智郡美郷町小松地320番地

TEL: 0855-77-0035
FAX: 0855-77-0135
e-mail: info@sanko-ryokka.com
URL: http://sanko-ryokka.com/



代表取締役 河村 健司

本社の位置する美郷町は、島根県のほぼ中央部に位置しています。近年はバイオマス事業にも力を入れて取り組み、貴重な資源である木材を有効活用すべく全量再生利用しています。「働くときにはしっかり働き、遊ぶときにはしっかり遊ぶ」がモットーの当社。20代から50代の作業員がいきいきと働いています。



本社及びバイオマス加工施設

【会社の特徴】

当社は、主として公共工事に伴う伐採を行っています。もともとは木材チップ生産工場から排出されるパルク(樹木の皮)の堆肥化を目的に設立されましたが、近年はバイオマス利用にも事業を拡大しており、素材生産のウエイトは高まる一方です。

当社では、大切な資源である木材を100%有効活用し、循環型社会の構築の一助として貢献する企業となっていくために必要な人材を求めています。

経営理念・社訓

「再生、それは人と地球にやさしいリサイクル技術」

森で伐採されて私たちの生活に役立ってきた木材。道路建設や土地造成など公共工事のために排出された伐採木。これまでは焼却という手段で処理されてきました。しかしこれからは地球環境の為に、資源としてのリサイクル発想が求められています。

「土から生まれたものは、土に返そう。」

この理念がある限り、更なる新発想で新たな可能性を追求していきます。



企業CSR活動による森づくり

インターンシップ実施計画書

1 受け入れ可能日			2 インターンシップ内容(5日間)		
	受入 可能日	受入 人数	現場にて(安全講習、見学、軽作業体験等)		
4月～ 3月	現場の稼働状況により (要相談)	1～2人			
3 装備・設備の有無					
○ヘルメットの貸出					有
○手袋・靴(長靴・安全靴)の貸出					無
○作業着(着替え)の貸出					無
○現場のトイレ					無
○更衣室、休憩室					無
○現場への送迎車					有
○その他					



作業前ミーティング



労働安全衛生委員会



伐採・枝払い作業中

【緑の担い手】



常松 克行(29歳)
林業経験:3年
就業形態:地元

【担い手へQ】

- ①林業に就業したのはなぜ?
- ②林業に携わり学べたことや自らが成長できたことは?
- ③今後、林業の技術・技能者として目指したいことは?
- ④林業に対するこれからの夢は?

- ①伐採作業を行っているのを見てカッコいいと思ったから。
- ②現場を任せられることが多く責任を感じつつ、少しずつではありますが、周りを見て考えながら作業できるようになったこと。
- ③一つのことだけではなく、色々な作業を任せられるような人材になりたい。
- ④大変な仕事ではありますが、やる価値のある仕事だと思ってもらえるようになってほしい。

【緑の担い手】



伊竹 宏人(40歳)
林業経験:10年
就業形態:地元

【担い手へQ】

- ①指導するうえで注意を払っていることは?
- ②指導者となってよかったと思うときは?
- ③後輩の職員に期待することは?
- ④林業に対するこれからの夢は?

- ①安全面での作業をすること。効率の良い作業をすること。技術の向上。
- ②後輩たちの成長する姿を見ると。
- ③自分が今、何をすべきか考え、行動できる、意見ができる人材になってほしい。
- ④これからは林業という職業が発展していいほしい。